

報道関係 各位

2016年9月11日

株式会社日本レースプロモーション

9月10日(土)～11日(日)

2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第5戦 岡山国際サーキット

Race2予選・決勝結果速報

**予選:野尻 智紀(ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)が、自身初のポールポジションを獲得**

**決勝:国本 雄資(プロミュー/セルモ インギング)が、スーパーフォーミュラ初優勝!**

2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第5戦 岡山国際サーキット Race2の予選・決勝が、岡山県美作市 岡山国際サーキットレーシングコース(1周:3.703km)にて開催されました。今大会は、10日(土)、11日(日)の各日において予選、決勝を行なう2レース制のレースフォーマットで行なわれ、Race2の予選は、1分14秒404のタイムでNo. 40 野尻 智紀(ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)がポールポジションを獲得しました。決勝は、5番グリッドからスタートしたNo. 2 国本 雄資(プロミュー/セルモ インギング)が2011年のスーパーフォーミュラ参戦から6年目で自身初の優勝を飾りました。

予選はノックアウト方式で争い、野尻 智紀が自身初のポールポジションを獲得しました。2位には、No.1 石浦 宏明(プロミュー/セルモ インギング)、3位に No. 41 ストフェル・バンドーン(ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)が続きましたが、ピットアウト時の安全確認違反によるペナルティで3グリッド降格となり、6番グリッドからのスタートとなりました。

決勝は、51周、トータル188.85kmで行なわれ、5番グリッドからスタートした 国本 雄資は、レース開始1周目にピットに入る戦略が功を奏しトップでチェッカーを受け、初優勝を飾りました。2位には、No. 37 中嶋 一貴(バンテリ チーム トムス)が入り、3位には、石浦 宏明が続きました。

この結果ドライバーポイントランキングは、昨日のRace1で首位に立っていた国本 雄資が、さらにポイントを伸ばしポイントリーダーをキープ。チームメイトの石浦 宏明がランキング2位、さらに優勝は無いながらNo.36 アンドレ・ロッター(バンテリ チーム トムス)がランキング3位に付けています。今シーズンは、これまでの5戦で6レースを行ない、全レースの勝者が異なるという近年稀にみる大混戦のため、まだ多くの上位陣に年間チャンピオンの可能性が残っており、残りの2レースから目が離せない状況となってきました。

次戦は、9月24日(土)、25日(日) 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第6戦 スポーツランドSUGO を開催いたします。

\* 記録の詳細は、添付「2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第5戦 岡山国際サーキット Race2 予選・決勝正式結果」をご参照ください。



スーパーフォーミュラ参戦6年目にして自身初の優勝を飾った、No. 2 国本 雄資(プロミュー/セルモ インギング)

Series Partner

**HONDA TOYOTA**

Series Supporter

**YOKOHAMA**

Promotion Partner

**HITACHI**  
Inspire the Next

**J SPORTS**

**SONY**  
Action Cam

**NIKKI-ICHI**  
人気酒造

## 【ご参考】

### 1. 全日本スーパーフォーミュラ選手権とは？

純然たるレーシングマシンであるオープン・シングルシーターのフォーミュラカーによって競われる国内最高峰の自動車レースです。一般社団法人日本自動車連盟(JAF)が公認し、株式会社日本レースプロモーションのプロモートにより、1996年にフォーミュラ・ニッポンとしてスタート。2013年より名称をスーパーフォーミュラに変更し現在に至っています。

### 2. チャンピオンシップ

2016年全日本スーパーフォーミュラ選手権は、全7戦、日本全国5カ所のサーキットを11チーム(エントリー)、国内外の19名(19台)のドライバー(※)が転戦しチャンピオンが争われる、アジア地域唯一の国際格式選手権シリーズです。

(※)ドライバー:国内:12名、海外5カ国:7名(イギリス2名、インド、ドイツ、ブラジル各1名、ベルギー2名)

### 2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 ポイントシステム

順位	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位以下	P.P.
1大会1レース	10	8	6	5	4	3	2	1	0	1
1大会2レース	5	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0	1

\*P. P. :ポールポジション(予選1位)には、ドライバーにのみ1ポイントが与えられる。チームポイントには加算されない。

\*1大会2レース制の場合、レース1、レース2共に1レース制の得点の半分が与えられる。

\*1大会2レース制の場合、最終戦に限りレース1、レース2の勝者には通常ポイントとは別に3ポイントが与えられる。これによりポールポジション+2連勝で最大18ポイントが与えられる。

\*最終戦終了時点で、複数のドライバーまたはチーム(エントリー)が同一ポイントを獲得している場合は、高得点を得た回数が多い順に順位を決定する。

### 3. シリーズ賞典

シリーズ賞典として、年間チャンピオンドライバーには、株式会社日本レースプロモーションよりシリーズドライバーズチャンピオンカップと賞金が授与されるほか、自由民主党モータースポーツ振興議員連盟より同連盟杯が贈られ、観光庁より観光庁長官杯が交付されます。また年間チャンピオンチームには経済産業省より経済産業大臣杯が交付され、株式会社日本レースプロモーションより賞金が授与されます。

### 4. レース車両

#### ◎シャシー

「クイック・アンド・ライト」をキーワードに開発されたSF14(イタリアダラーラ社製)を2014年より採用。

SF14は、キーワードの「クイック・アンド・ライト」特性を活かし、コーナリングスピードではフォーミュラ1マシン以上のパフォーマンスを叩き出します。この車両を採用して以来、レースの質が一気に向上したことから海外からの注目を集めるようになりました。

#### ◎エンジン

日本を代表する自動車メーカーであるホンダとトヨタが次世代エンジン開発に貢献するコンセプト=NRE(※1)に基づき開発したHONDA HR-414E、TOYOTA R14A を搭載しています。

このエンジンの特徴としては「燃料リストラクター」(燃料流量規制システム)を全機装備し、燃料流量を一定にすることにより燃料をいかに効率良く活用しパワーに結びつけるかが、勝負の鍵となります。

厳しい開発競争の結果、効率の良さを図る“正味燃費消費率(BSFC)”、“正味熱効率”では市販ハイブリット車以上の性能を発揮しており、次世代エコエンジンの開発に貢献しています。

Series Partner

**HONDA TOYOTA**

Series Supporter

**YOKOHAMA**

Promotion Partner

**HITACHI**  
Inspire the Next

**J SPORTS**

**SONY**  
Action Cam

**人気が酒造**

(※1)NREエンジンについて

ホンダ、トヨタ、ニッサンが、環境技術とモータースポーツの面白さの両立に向けに決定したエンジン規定。

- ・気筒配列 : 直列4気筒
- ・排気量 : 2,000cc+ターボ
- ・燃料吸気方式 : ダイレクトインジェクション
- ・燃料流量制限 : 鈴鹿、富士大会…燃料流量95kg/h  
その他大会…燃料流量90kg/h

◎オーバーテイクシステム

レースを盛り上げる一助として、オーバーテイクシステム(以下OTS)を2009年より採用しています。このシステムは、スーパーフォーミュラが始めた仕組みです。

当該システムはレースに於ける見せ場の一つである追い越しをより促すシステムです。

SF14のシステムは各エンジンに装備されている燃料リストリクターを活用し、燃料供給量を一時的に増加させパワーを上げることができます。(※2)ステアリングにあるボタンを操作し、1大会につき5回、各20秒間使用可能となります。使用中はドライバーのヘルメット後方にあるランプ(オーバーテイクランプ=OTL)が点滅し、観客からも視認できます。

またポイントリーダードライバーは、その栄誉を称える意味から1台だけ赤色のランプ(名称:リーダーズレッド)を装着しています。

(※2)オーバーテイクシステムの効果について

- ・メカニズム : システム作動時に燃料流量を10kg/h増加させる
- ・効果 : 約60ps、10%の出力増
- ・ルール : 1回に20秒間作動、1大会で5回使用可能

◎タイヤ

今シーズンより横浜ゴム製のワンメイク供給です。同社における国内トップフォーミュラへの参戦は1996年以来20年ぶりとなります。横浜ゴムのスーパーフォーミュラ用ADVANレーシングタイヤは、スーパーフォーミュラが要求するグリップ、耐久性、安全性などの厳しい目標に対し、高いパフォーマンスを発揮、レースの盛り上げに貢献しています。

5. 公式予選

岡山国際サーキットレーシングコース(1周:3.703km)を、決められた時間内でタイムアタックを行い、スタート順を決定いたします。今大会では、Race1、Race2それぞれで異なる予選方式が採用されています。

10日(土)は時間予選で行われ、20分間の中で全車が走行し、各ドライバーのベストタイム順にスタート順を決定します。

11日(日)はノックアウト方式で行われ、全車が走行する20分間のQ1で11位~19位のスタート位置を決定し、上位10台がQ2に進みます。10分間のインターバル後、10分間のQ2を行い、1位~10位のスタート位置を決定します。

尚、ノックアウト方式の名称は、予選にて好タイムが出なければその場でノックアウト(脱落)されることから、この呼称となりました。

## 6. 決勝レース

岡山国際サーキットレーシングコース(1周:3.703km)を10日(土)のRace1では、30周、トータル111.09kmを走行し、11日(日)のRace2では、51周、トータル188.85kmを走行し、順位を競います。

尚、Race2は、決勝レース中に必ず1度以上はタイヤ交換をしなければならない「タイヤ交換義務付け制」を規則で運用します。

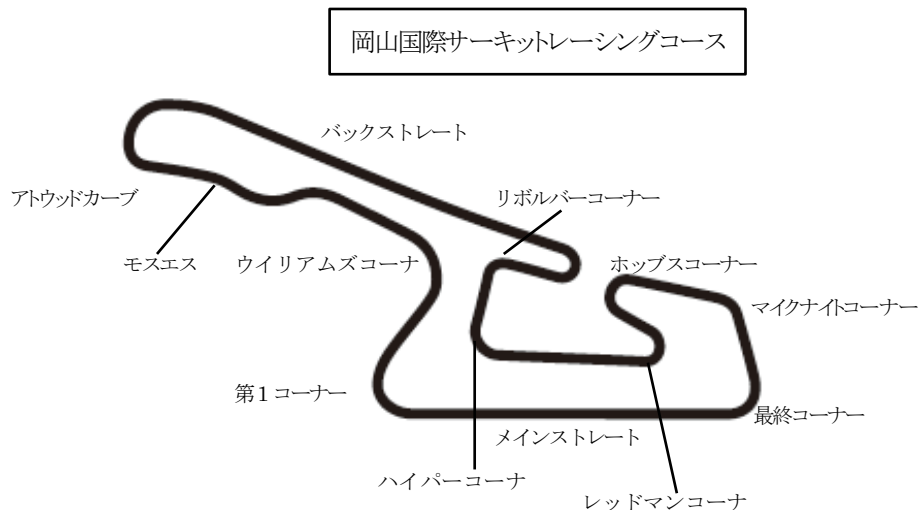
### 2016年全日本スーパーフォーミュラ選手権 開催スケジュール

日程	ラウンド/サーキット	予選方式	決勝レース方式
4 / 23 ~ 24	第1戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	250 km
5 / 28 ~ 29	第2戦/岡山国際サーキット	ノックアウト	250 km
7 / 16 ~ 17	第3戦/富士スピードウェイ	ノックアウト	250 km
8 / 20 ~ 21	第4戦/ツインリンクもてぎ	ノックアウト	250 km
9 / 10 ~ 11	第5戦/岡山国際サーキット (※)	時間 / ノックアウト	2 レース制
9 / 24 ~ 25	第6戦/スポーツランドSUGO	ノックアウト	250 km
10 / 29 ~ 30	第7戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	2 レース制

(※)熊本地震により、第5戦のオートポリス開催は中止となり、代替レースとして岡山国際サーキットにて開催いたします。

## 7. 岡山国際サーキットレーシングコースについて

2 本の長いストレートと大小13のコーナーからなるテクニカルコースで、各コーナーには往年の名ドライバーの名前がついている。迫力ある見どころとしては、スタート直後の1コーナー、ヘアピンからリボルバーコーナーの下り、Wヘアピン(レッドマン・ホップスコーナー)。コースと観客の距離が近く、コース全長3.7km、レースの迫力をより身近に感じることができます。



Series Partner

**HONDA TOYOTA**

Series Supporter

**YOKOHAMA**

Promotion Partner

**HITACHI**  
Inspire the Next

**J SPORTS**

**SONY**  
Action Cam

**NIKKI-ICHI**  
人気酒造

2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第5戦岡山国際サーキットレーシング大会 エントリーリスト  
(車両:SF14、タイヤ:ヨコハマタイヤ)

Car No.	ドライバー名	生年月日	出身地	チーム名 (読み)	監督	エンジン
1	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	1981/4/23	日本/東京都	P.MU/CERUMO・INGING (プロミュー/セルモ インギング)	立川 祐路	TOYOTA R14A
2	国本 雄資 Yuji Kunimoto	1990/9/12	日本/神奈川県			
3	ジェームス・ロシター James Rossiter	1983/8/25	イギリス	KONDO RACING (コンドー レーシング)	近藤 真彦	TOYOTA R14A
4	ウィリアム・ブラー William Buller	1992/9/17	イギリス			
7	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	1977/1/14	インド	SUNOCO TEAM LEMANS (スノコ チーム ルマン)	山田 健二	TOYOTA R14A
8	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	1986/9/13	日本/兵庫県			
10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	1986/11/20	日本/栃木県	REAL RACING (リアル レーシング)	金石 勝智	HONDA HR-414E
11	伊沢 拓也 Takuya Izawa	1984/6/1	日本/東京都			
16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	1988/7/11	日本/栃木県	TEAM 無限 (チーム ムゲン)	手塚 長孝	HONDA HR-414E
18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	1991/7/25	日本/東京都	KCMG (ケーシーエムジー)	土居 隆二	TOYOTA R14A
19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira	1981/7/13	ブラジル	ITOCHEU ENEX TEAM IMPUL (イトウチュウ エネクス チーム インバル)	星野 一義	TOYOTA R14A
20	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	1987/12/29	日本/東京都			
34	小暮 卓史 Takashi Kogure	1980/8/1	日本/群馬県	DRAGO CORSE (ドラゴ コルセ)	道上 龍	HONDA HR-414E
36	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	1981/11/19	ドイツ	VANTELIN TEAM TOM'S (バンテリン チーム トムス)	舘 信秀	TOYOTA R14A
37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	1985/1/11	日本/愛知県			
40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	1989/9/15	日本/茨城県	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)	村岡 潔	HONDA HR-414E
41	ストフェル・バンドーン Stoffel Vandoorne	1992/3/26	ベルギー			
64	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	1989/1/29	日本/愛知県	NAKAJIMA RACING (ナカジマ レーシング)	中嶋 悟	HONDA HR-414E
65	ベルトラン・バゲット Bertrand Baguette	1986/2/23	ベルギー			

## 2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 ポイントランキング

### ドライバーポイントランキング

順位	No.	ドライバー	ポイント	4/24	5/29	7/17	8/21	9/11		9/25	10/30	
				鈴鹿 Rd.1	岡山国際 Rd.2	富士 Rd.3	もてぎ Rd.4	岡山国際 Rd.5-1   Rd.5-2		菅生 Rd.6	鈴鹿 Rd.7-1   Rd.7-2	
1	2	国本 雄資 Yuji Kunimoto	23.5	8	1.5	-	5	4	<b>5</b>			
2	1	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	19	-	<b>6</b>	3	6	1	3			
3	36	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	18	2	0.5	5	8	-	2.5			
4	20	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	17	-	-	6	<u>11</u>	-	0			
5	41	ストフェル・バンドーン Stoffel Vandoorne	16	6	-	<u>1</u>	3	<b>5</b>	1			
6	16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	15.5	<u>11</u>	2	-	1	-	1.5			
7	37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	15	-	-	8	2	<u>1</u>	4			
8	19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira	12.5	-	-	<b>10</b>	-	0.5	2			
9	3	ジェームス・ロシター James Rossiter	11	3	-	4	4	-	-			
10	10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	11	4	4	1	-	2	-			
11	40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	6	-	2.5	-	-	2.5	<u>1</u>			
12	34	小暮 卓史 Takashi Kogure	5	5	-	-	-	-	0			
13	7	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	5	-	-	2	-	3	0			
14	11	伊沢 拓也 Takuya Izawa	3.5	-	3	-	-	-	0.5			
15	64	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	2.5	-	1	-	-	1.5	-			
16	65	ベルトラン・バゲット Bertrand Baguette	1	1	-	-	-	-	-			
	18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	-	-	-	-	-	-	-			
	8	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	-	-	-	-	-	-	-			
	4	ウィリアム・ブラー William Buller	-	-	-	-	-	-	-			

\* 表中ポイント数字の **太字**: 優勝 下線: 予選ポールポジション

### チームポイントランキング

順位	チーム	ポイント	4/24	5/29	7/17	8/21	9/11		9/25	10/30	
			鈴鹿 Rd.1	岡山国際 Rd.2	富士 Rd.3	もてぎ Rd.4	岡山国際 Rd.5-1   Rd.5-2		菅生 Rd.6	鈴鹿 Rd.7-1   Rd.7-2	
1	P.MU/CERUMO - INGING (プロムムー/セルモ インギング)	41.5	8	6.5	3	11	5	8			
2	VANTLIN TEAM TOM'S (バンテリンチーム トムス)	32	2	0.5	13	10	-	6.5			
3	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL (イトウチュウ エネクス チーム インパル)	28.5	-	-	16	10	0.5	2			
4	DDOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ・チーム・ダンディライオン・レーシング)	20	6	2.5	-	3	7.5	1			
5	TEAM 無限 (チーム ムゲン)	14.5	10	2	-	1	-	1.5			
6	REAL RACING (リアルレーシング)	14.5	4	7	1	-	2	0.5			
7	KONDO RACING (コンドレーシング)	11	3	-	4	4	-	-			
8	DRAGO CORSE (ドラゴ コルセ)	5	5	-	-	-	-	-			
9	SUNOCO TEAM LEMANS (スノコ チーム ルマン)	5	-	-	2	-	3	-			
10	NAKAJIMA RACING (ナカジマレーシング)	3.5	1	1	-	-	1.5	-			
	KCMG (ケーシーエムジー)	-	-	-	-	-	-	-			

\* 表中ポイント数字の **太字**: 優勝

\* チームポイント: 各チーム(エントリー)に所属するドライバーの獲得ポイントを合計。同一チーム(エントリー)に2台以上の車両が所属する場合は、上位2台分が対象となる。チームポイントには、ポールポジションのポイントは与えられない。

Series Partner

**HONDA TOYOTA**

Series Supporter

**YOKOHAMA**

Promotion Partner

**HITACHI**  
Inspire the Next

**J SPORTS**

**SONY**  
Action Cam

**NIKKI-ICHI**  
人気酒造

## — 開催概要 —

- 大会名称 : 2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第5戦 岡山国際サーキット
- 開催日程 : 2016年9月10日(土) 公式予選/決勝レース [30周]  
2016年9月11日(日) 公式予選/決勝レース [51周]
- 主催 : 株式会社 岡山国際サーキット  
アイダクラブ(AC)
- 公認 : 国際自動車連盟(FIA)  
一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
- 認定 : 株式会社日本レースプロモーション(JRP)
- 後援 : 岡山県/美作市/岡山県観光連盟/美作国観光連盟/岡山県経済団体連絡協議会/  
岡山県商工会議所連合会/岡山県経営者協会/一般社団法人岡山経済同友会/  
岡山県中小企業団体中央会/岡山県商工会連合会/山陽新聞
- 同日開催 : 2016年 全日本フォーミュラ3選手権 第13戦&第14戦  
2016 N-ONE OWNER'S CUP Rd.10

Series Partner

**HONDA TOYOTA**

Series Supporter

 **YOKOHAMA**

Promotion Partner

**HITACHI**  
Inspire the Next

 **J SPORTS**

**SONY**  
Action Cam

 **NINKI-ICHI**  
人気酒造



## 【TV放映予定】

### ● J SPORTS

全7戦の予選と決勝の模様をライブ中継。再放送やレースダイジェスト番組も放送します。  
放送スケジュールは、「J SPORTSモータースポーツ」ウェブサイト内の「スーパーフォーミュラ」ページ、  
または「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」でご確認ください。

[http://www.jsports.co.jp/motor/super\\_formula/](http://www.jsports.co.jp/motor/super_formula/)、 <http://www.superformula.net/>

### ● BSフジ 『スーパーフォーミュラ Go On!』

あの時、あの瞬間、何が起きていたのか？レースの裏側を独自の視線でたっぷり振り返るハイライト番組。  
ドライバーの想いやマシンの秘密に迫るミニコーナーなども加え、スーパーフォーミュラの魅力満載です。  
レース翌週の金曜日に初回放送！再放送あり。

<放送日時> ※放送日時は変更となる場合があります。

第5戦 岡山国際サーキット9/10～11	9/16(金) 23:05～24:00 (再放送:9/23(金) 23:30～24:25)
第6戦 スポーツランドSUGO 9/24～25	放送日未定
第7戦 鈴鹿サーキット10/29～30	放送日未定
総集編	放送日未定

### ● フジテレビNEXTライブ・プレミアム(CS放送) 『スーパーフォーミュラTV』

レースダイジェストとスタジオトークでスーパーフォーミュラの魅力を伝える30分の情報番組。  
ゲストには参戦ドライバーに加え、トップフォーミュラの歴史に名を馳せたレジェンドたちも出演します。  
過去の名場面から現在まで、二人のゲストがフォーミュラへの想いを熱く語ります。  
司会はフジテレビF1実況アナウンサーです。

<放送日時> ※放送日は、レース翌週の金曜日。再放送あり。

第5回のゲストは関口雄飛、井出有治。放送日は9/16(金)24:10～24:40(予定)。

詳しくは番組ホームページをご覧ください。 [http://otn.fujitv.co.jp/b\\_hp/914200066.html/](http://otn.fujitv.co.jp/b_hp/914200066.html/)

### ● フジテレビ(地上波)『超速GO音』

今注目のドライバーや監督を毎回ゲストに迎え、知られざるレースの魅力、ドライバーの凄さやプライベートを徹底的に語りつくす、スーパーなアスリートトークショー。  
小林可夢偉と中嶋大祐の二人の参戦ドライバーがパーソナリティを務め、番組の進行はピエール北川、そして乃木坂46の樋口日奈がナレーションを担当します。

<放送日時>

第6回のゲストは、舘 信秀、中嶋 悟。放送日は9/18(日)26:45～27:15。(フジテレビ・岡山放送)

9/26(月)から動画配信サービスのFOD(フジテレビオンデマンド)で無料配信開始。

### ◎ 世界182カ国でスーパーフォーミュラの放送を開始！

今シーズンから各戦の英語版 52 分ハイライト番組が 121 カ国にて放送されることになりました。この時点で確定している視聴可能世帯数は約 3500 万、ニュースのみの露出を加えると 182 カ国でスーパーフォーミュラの映像が流れます。



### 【映像の配信】

- ニコニコ動画  
土曜日、日曜日の予選を全戦生中継  
<http://www.nicovideo.jp/>
- GYAO!  
大会終了10日以降に、スーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンドにて無料配信します。  
<http://gyao.yahoo.co.jp/sports/>
- YouTube  
Race1、Race2の決勝の競技映像をダイジェスト版にて当日夜配信します。  
※配信日時は変更となる場合があります。  
詳しくは予選ならびに決勝日の夜、「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」  
もしくは「YouTube」本サイトでご確認ください。  
<http://www.superformula.net/>    <https://www.youtube.com/user/superformulavideo>
- FOD(フジテレビオンデマンド)  
フジテレビで放映中の『超速GO音』を、放送日の8日後から無料配信します。  
<http://fod.fujitv.co.jp/s/genre/sports>

### 【インターネット／SNS】

- スーパーフォーミュラオフィシャルWEBサイト  
<http://superformula.net>
- スーパーフォーミュラオフィシャルfacebook  
<https://www.facebook.com/superformula.official>
- スーパーフォーミュラオフィシャル twitter  
[https://twitter.com/SUPER\\_FORMULA](https://twitter.com/SUPER_FORMULA)

### 【第5戦(岡山国際サーキット)のチケット情報】

- 前売観戦券                    土日通し:5,400円  
   土曜日:3,240円  
   日曜日:5,400円
- ピットラウンジパス        大人・中学生以上:30,780円  
  (数量限定)                    小学生:16,200円  
   ※小学生は駐車パス・公式プログラムは付きません
- パドックパス                土日通し:9,720円  
   ※別途観戦券が必要です
- ピットウォークパス        中学生以上:3,000円(各日)  
   ※当日販売のみ／別途観戦券が必要です

\*この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社日本レースプロモーション 広報部

102-0074東京都千代田区九段南2-3-25 平安堂ビル

Tel:03-3237-0131 Fax:03-3237-0131 e-mail:media@jrp-inc.net



2016 Japanese **SUPER FORMULA 9.10** SAT 1  
**CHAMPIONSHIP ROUNDS** OKAYAMA International Circuit **11** SUN 2



2016 Japanese SUPER FORMULA Championship Series Round 5  
 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第5戦

**Race 2 公式予選 総合正式結果**

公式予選 Q 1 スタート時間: 9:50:00/フィッシャー時間: 10:10:03  
 公式予選 Q 2 スタート時間: 10:20:00/フィッシャー時間: 10:38:26

主催: 株式会社岡山国際サーキット/アイダクラブ (AC)

2016.09.11 発表 11:52 天候: 晴れ コース状況: ドライ 岡山国際サーキット 3.703km

順位	車番	ドライバー	モデル	車名	Q 1	Q 2
1	40	野尻 智紀/Tomoki Nojiri	Honda HR-414E	DOCOMO DANDELION M40Y SF14	1' 15.025	1' 14.404
2	1	石浦 宏明/Hiroaki Ishiura	TOYOTA R14A	P. MU/CERUMO・INGING SF14	1' 15.264	1' 14.656
3	● 41	Stoffel Vandoorne	Honda HR-414E	DOCOMO DANDELION M41S SF14	1' 15.056	1' 14.712
4	3	James Rossiter	TOYOTA R14A	FUJI CORPORATION KONDO SF14	1' 15.247	1' 14.836
5	19	Joao Paulo de Oliveira	TOYOTA R14A	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	1' 15.163	1' 14.914
6	2	国本 雄資/Yuji Kunimoto	TOYOTA R14A	P. MU/CERUMO・INGING SF14	1' 15.244	1' 14.928
7	7	Narain Karthikeyan	TOYOTA R14A	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	1' 15.115	1' 15.246
8	20	関口 雄飛/Yuhi Sekiguchi	TOYOTA R14A	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	1' 14.690	1' 15.288
9	65	Bertrand Baguette	Honda HR-414E	GREEN TEC/NAKAJIMA SF14	1' 15.086	1' 15.720
10	8	小林 可夢偉/Kamui Kobayashi	TOYOTA R14A	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	1' 15.165	1' 29.938
----- 以上Q2にて決定 -----						
11	37	中嶋 一貴/Kazuki Nakajima	TOYOTA R14A	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	1' 15.271	
12	18	中山 雄一/Yuichi Nakayama	TOYOTA R14A	KCMG Elyse SF14	1' 15.273	
13	36	Andre Lotterer	TOYOTA R14A	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	1' 15.344	
14	64	中嶋 大祐/Daisuke Nakajima	Honda HR-414E	GREEN TEC/NAKAJIMA SF14	1' 15.463	
15	16	山本 尚貴/Naoki Yamamoto	Honda HR-414E	TEAM MUGEN SF14	1' 15.547	
16	11	伊沢 拓也/Takuya Izawa	Honda HR-414E	REAL SF14	1' 15.652	
17	4	William Buller	TOYOTA R14A	FUJI CORPORATION KONDO SF14	1' 15.656	
18	34	小暮 卓史/Takashi Kogure	Honda HR-414E	DRAGO CORSE SF14	1' 15.876	
19	10	塚越 広大/Koudai Tsukakoshi	Honda HR-414E	REAL SF14	1' 15.952	

----- 以上予選通過 -----

予選通過基準タイム (107%) 1' 19.918

公式予選 (Q2) は、計測開始5分13時点で赤旗提示。残り時間4分47秒で再開した。(赤旗中断 10:25~10:32)

●No. 41は (Q2予選時) 2016年スーパーフォーミュラ選手権 統一規則 第21条12. (安全確認) 違反により3グリッド降格とする。(10:55)

参加台数: 19台 出走台数: 19台

審査委員長: TAKASHI MITARASHI

大会競技長: MASAHIRO USUKI

計時委員長: SHIGEKI TERAO





2016 Japanese



AC

# SUPER FORMULA 9.10 SAT 1

CHAMPIONSHIP ROUND 5 OKAYAMA International Circuit

11 SUN 2

SUPER FORMULA

No 13

2016 Japanese SUPER FORMULA Championship Series Round 5

全日本スーパーフォーミュラ選手権 第5戦

## Race 2 決勝 正式結果

主催：株式会社岡山国際サーキット/アイダクラブ (AC)

2016.09.11 発表 17:30

天候：晴れ

コース状況：ドライ

スタート時間：15:03:23

チェッカー時間：16:14:54

岡山国際サーキット 3.703km

順位	車番	ドライバー	モデル	車名	周回	所要時間	km/h	トップ差	ベストタイム	周回
1	2	国本 雄資/Yuji Kunimoto	TOYOTA R14A	P. MU/CERUMO・INGING SF14	51	1h11'31.812	158.411		1'17.755	7
2	37	中嶋 一貴/Kazuki Nakajima	TOYOTA R14A	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	51	1h11'32.980	158.368	1.168	1'17.676	7
3	1	石浦 宏明/Hiroaki Ishiura	TOYOTA R14A	P. MU/CERUMO・INGING SF14	51	1h11'33.495	158.349	1.683	1'17.232	44
4	36	Andre Lotterer	TOYOTA R14A	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	51	1h11'37.079	158.217	5.267	1'17.761	6
5	19	Joao Paulo de Oliveira	TOYOTA R14A	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL SF14	51	1h11'41.302	158.062	9.490	1'17.760	17
6	16	山本 尚貴/Naoki Yamamoto	Honda HR-414E	TEAM MUGEN SF14	51	1h11'43.331	157.987	11.519	1'17.743	8
7	41	Stoffel Vandoorne	Honda HR-414E	DOCOMO DANDELION M41S SF14	51	1h11'45.426	157.910	13.614	1'18.319	21
8	11	伊沢 拓也/Takuya Izawa	Honda HR-414E	REAL SF14	51	1h11'47.868	157.821	16.056	1'17.914	6
9	20	関口 雄飛/Yuhi Sekiguchi	TOYOTA R14A	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL SF14	51	1h11'51.781	157.677	19.969	1'17.948	6
10	3	James Rossiter	TOYOTA R14A	FUJII CORPORATION KONDO SF14	51	1h11'52.561	157.649	20.749	1'18.725	51
11	10	塚越 広大/Koudai Tsukakoshi	Honda HR-414E	REAL SF14	51	1h11'54.270	157.587	22.458	1'18.433	14
12	64	中嶋 大祐/Daisuke Nakajima	Honda HR-414E	GREEN TEC/NAKAJIMA SF14	51	1h11'56.668	157.499	24.856	1'18.217	6
13	18	中山 雄一/Yuichi Nakayama	TOYOTA R14A	KCMG Elyse SF14	51	1h11'57.725	157.460	25.913	1'18.611	5
14	34	小暮 卓史/Takashi Kogure	Honda HR-414E	DRAGO CORSE SF14	51	1h11'58.287	157.440	26.475	1'17.622	13
15	4	William Buller	TOYOTA R14A	FUJII CORPORATION KONDO SF14	51	1h12'11.472	156.961	39.660	1'18.678	6
16	● 40	野尻 智紀/Tomoki Nojiri	Honda HR-414E	DOCOMO DANDELION M40Y SF14	51	1h12'14.217	156.861	42.405	1'18.015	7
17	8	小林 可梦偉/Kamui Kobayashi	TOYOTA R14A	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	51	1h12'34.882	156.117	1'03.070	1'18.853	7
18	65	Bertrand Baguette	Honda HR-414E	GREEN TEC/NAKAJIMA SF14	50	1h12'16.905	153.690	1 Lap	1'17.284	47
——— 以上完走 ———										
	7	Narain Karthikeyan	TOYOTA R14A	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	29	38'53.507	165.670	22 Laps	1'17.784	9

本決勝レースは、30周目にSC導入し34周目に離脱した。

●No. 40は、国際モータースポーツ競技規則 付則H項 第2章 2.9.10 (第2SCラインでの追い越し)違反により、「ラビング」スーパーライセンスを課した。(15:58)

参加台数：19台 出走台数：19台

ベストラップ：1 石浦 宏明/Hiroaki Ishiura 1'17.232 44/51 172.607km/h

審査委員長：TAKASHI MITARASHI

大会競技長：MASAHIRO USUKI

計時委員長：SHIGEKI TERAOKA

OKAYAMA International Circuit  
岡山国際サーキット